

IN THE U.S. PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant(s): KAWAOKA, Yoshiki

Application No.:

Group:

Filed: January 24, 2000

Examiner:

For: IMAGE FILE APPARATUS AND METHOD



L E T T E R

Assistant Commissioner for Patents  
Box Patent Application  
Washington, D.C. 20231

January 24, 2000  
0905-0226P-SP

Sir:

Under the provisions of 35 USC 119 and 37 CFR 1.55(a), the applicant hereby claims the right of priority based on the following application(s):

<u>Country</u>	<u>Application No.</u>	<u>Filed</u>
JAPAN	11-018021	01/27/99

A certified copy of the above-noted application(s) is(are) attached hereto.

If necessary, the Commissioner is hereby authorized in this, concurrent, and future replies, to charge payment or credit any overpayment to deposit Account No. 02-2448 for any additional fees required under 37 C.F.R. 1.16 or under 37 C.F.R. 1.17; particularly, extension of time fees.

Respectfully submitted,

BIRCH, STEWART, KOLASCH & BIRCH, LLP

By:

DONALD J. DALEY  
Reg. No. 34,313  
P. O. Box 747

Falls Church, Virginia 22040-0747

Attachment  
(703) 205-8000  
/dll

CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

13.5.8.0.  
(703) 205-8000  
KAWAOKA, Yoshiki  
905-226P  
10f1

日 本 国 特 許 庁  
PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて  
の事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed  
in this Office.

願 年 月 日

Date of Application:

1999年 1月27日

願 番 号

Application Number:

平成11年特許願第018021号

願 人

Applicant(s):

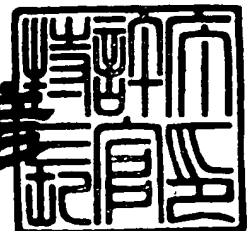
富士写真フイルム株式会社



1999年12月17日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

近 藤 隆 彦



【書類名】 特許願

【整理番号】 99013

【提出日】 平成11年 1月27日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 12/00

【発明の名称】 画像ファイル装置および方法

【発明者】

    【住所又は居所】 埼玉県朝霞市泉水三丁目 1 1 番 4 6 号 富士写真フイルム株式会社内

    【氏名】 河岡 芳樹

【特許出願人】

    【識別番号】 000005201

    【氏名又は名称】 富士写真フイルム株式会社

【代理人】

    【識別番号】 100080322

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 牛久 健司

【選任した代理人】

    【識別番号】 100104651

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 井上 正

    【連絡先】 0 3 - 3 5 9 3 - 2 4 0 1

【手数料の表示】

    【予納台帳番号】 006932

    【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

    【物件名】 明細書 1

    【物件名】 図面 1

    【物件名】 要約書 1

特平 1 1 - 0 1 8 0 2 1

【包括委任状番号】 9800030

【包括委任状番号】 9800031

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像ファイル装置および方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 第 1 の記録媒体に記録されている画像ファイルを読み出して第 2 の記録媒体に記録する画像ファイル装置において、

上記第 1 の記録媒体に記録されている画像ファイルを読み出す画像ファイル読み出し装置、

上記画像ファイル読み出し装置によって読み出された画像ファイルのファイル名と上記第 2 の記録媒体に記録されている画像ファイルのファイル名とが重複するかどうかを判定するファイル名重複判定手段、

上記ファイル名重複判定手段によって重複すると判定されたことに応じて、上記第 2 の記録媒体に記録されている画像ファイルのファイル名と重複しないように、上記第 1 の記録媒体から読み出された画像ファイルのファイル名を変更し、その読み出された画像ファイルを上記第 2 の記録媒体に記録する画像ファイル記録制御手段、および

上記画像ファイル記録制御手段によって、上記第 2 の記録媒体に記録されている画像ファイルを、画像ファイルによって表されている画像の種類ごとにグループ分けするグルーピング手段、

を備えた画像ファイル装置。

【請求項 2】 上記グルーピング手段が、グループごとに対応するファイル名を上記第 2 の記録媒体に記録させるものである、請求項 1 に記載の画像ファイル装置。

【請求項 3】 第 1 の記録媒体に記録されている画像ファイルを読み出す画像ファイル読み出し装置、

上記画像ファイル読み出し装置によって読み出された画像ファイルを第 2 の記録媒体に記録する記録制御手段、および

上記記録制御手段によって上記第 2 の記録媒体に記録中の画像ファイルを出力する出力手段、

を備えた画像ファイル装置。

【請求項 4】 上記出力手段が、上記第 2 の記録媒体に記録されている画像ファイルによって表される画像を表示する表示装置である、請求項 3 に記載の画像ファイル装置。

【請求項 5】 第 1 の記録媒体に記録されている画像ファイルを読み出して第 2 の記録媒体に記録する画像ファイル装置において、

上記第 1 の記録媒体に記録されている画像ファイルを読み出し、

上記第 1 の記録媒体から読み出された画像ファイルのファイル名と上記第 2 の記録媒体に記録されている画像ファイルのファイル名とが重複するかどうかを判定し、

重複すると判定されたことに応じて、上記第 2 の記録媒体に記録されている画像ファイルのファイル名と重複しないように、上記第 1 の記録媒体から読み出された画像ファイルのファイル名を変更し、その読み出された画像ファイルを上記第 2 の記録媒体に記録し、

上記第 2 の記録媒体に記録されている画像ファイルを、画像ファイルによって表されている画像の種類ごとにグループ分けする、

画像ファイル方法。

【請求項 6】 第 1 の記録媒体に記録されている画像ファイルを読み出し、

読み出された画像ファイルを第 2 の記録媒体に記録し、

上記第 2 の記録媒体に記録中の画像ファイルを出力する、

画像ファイル方法。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【技術分野】

この発明は、第 1 の記録媒体に記録されている画像ファイルを読み出し、読み出された画像ファイルを第 2 の記録媒体に記録する画像ファイル装置および方法に関する。

【0 0 0 2】

【発明の背景】

第 1 の記録媒体に記録されている画像ファイルを読み出し、第 2 の記録媒体に記録する場合においては、第 1 の記録媒体から読み出した画像ファイルのファイル名と同じファイル名で画像ファイルが第 2 の記録媒体にすでに記録されていることがある。画像ファイルとファイル名とは一対一に対応する必要があり、異なる画像ファイルが同じファイル名をもつことは許されない。このため、第 1 の記録媒体から読み出した画像ファイルを第 2 の記録媒体に記録するときには、第 2 の記録媒体に記録されている画像ファイルに第 1 の記録媒体から読み出された画像ファイルが上書きされることが多い。

【0 0 0 3】

第 2 の記録媒体に記録されている画像ファイルに第 1 の記録媒体から読み出された画像ファイルが上書きされると、第 2 の記録媒体にすでに記録されていた画像ファイルは消去されてしまう。

【0 0 0 4】

画像の種類ごとにグルーピングをして、いわゆる電子アルバムを作成する場合においても、異なる 2 つ以上の画像ファイルが同じファイル名をもつことは許されない。

【0 0 0 5】

また、第 1 の記録媒体から画像ファイルを読み出して第 2 の記録媒体に記録する場合、第 2 の記録媒体に記録中の画像ファイルのファイル名が表示されることがある。しかしながら、ファイル名が表示されただけではその画像ファイルがどのような画像であるかをユーザが確認することは難しい。

【0 0 0 6】

【発明の開示】

この発明は、第 1 の記録媒体から画像ファイルを読み出し、第 2 の記録媒体に記録していわゆる電子アルバムを作成する場合に、第 2 の記録媒体に記録されている画像ファイルが重複したファイル名をもたないようにすることを目的とする。

【0 0 0 7】

またこの発明は、第 1 の記録媒体から画像ファイルを読み出し、第 2 の記録媒

体に記録する場合に、第2の記録媒体に記録している画像ファイルがどのような画像ファイルであるかを確実にユーザに知らせるようにすることを目的とする。

## 【0008】

第1の発明は、第1の記録媒体に記録されている画像ファイルを読み出して第2の記録媒体に記録する画像ファイル装置において、上記第1の記録媒体に記録されている画像ファイルを読み出す画像ファイル読み出し装置、上記画像ファイル読み出し装置によって読み出された画像ファイルのファイル名と上記第2の記録媒体に記録されている画像ファイルのファイル名とが重複するかどうかを判定するファイル名重複判定手段、上記ファイル名重複判定手段によって重複すると判定されたことに応じて、上記第2の記録媒体に記録されている画像ファイルのファイル名と重複しないように、上記第1の記録媒体から読み出された画像ファイルのファイル名を変更し、その読み出された画像ファイルを上記第2の記録媒体に記録する画像ファイル記録制御手段、および上記画像ファイル記録制御手段によって、上記第2の記録媒体に記録されている画像ファイルを、画像ファイルによって表されている画像の種類ごとにグループ分けするグルーピング手段を備えていることを特徴とする。

## 【0009】

第1の発明は、上記画像ファイル装置に適した方法も提供している。すなわち、この方法は、第1の記録媒体に記録されている画像ファイルを読み出して第2の記録媒体に記録する画像ファイル装置において、上記第1の記録媒体に記録されている画像ファイルを読み出し、上記第1の記録媒体から読み出された画像ファイルのファイル名と上記第2の記録媒体に記録されている画像ファイルのファイル名とが重複するかどうかを判定し、重複すると判定されたことに応じて、上記第2の記録媒体に記録されている画像ファイルのファイル名と重複しないように、上記第1の記録媒体から読み出された画像ファイルのファイル名を変更し、その読み出された画像ファイルを上記第2の記録媒体に記録し、上記第2の記録媒体に記録されている画像ファイルを、画像ファイルによって表されている画像の種類ごとにグループ分けするものである。

## 【0010】



第1の発明によると、上記第1の記録媒体から画像ファイルが読み出される。読み出された画像ファイルのファイル名と、上記第2の記録媒体にすでに記録されている画像ファイルのファイル名とが重複するかどうか判定される。重複する場合には、上記第2の記録媒体に記録されている画像ファイルのファイル名と重複しないように上記第1の記録媒体から読み出された画像ファイルのファイル名が変更される。変更されたファイル名をもつ画像ファイルが上記第2の記録媒体に記録される。

【0011】

上記第1の記録媒体から読み出された画像ファイルのファイル名が変更されて上記第2の記録媒体に記録されるので、同じファイル名をもつ異なる画像ファイルが上記第2の記録媒体に記録されてしまうことが未然に防止される。上記第2の記録媒体に記録されている画像ファイルが消去されることもないので、重要なファイルが誤って上記第2の記録媒体から消去されてしまうことも防止できる。

【0012】

上記第2の記録媒体に、上記第1の記録媒体から読み出された画像ファイルが記録されると、画像ファイルによって表される画像の種類ごとにグループ分けされる。いわゆる電子アルバムが作成される。

【0013】

同じファイル名をもつ異なる画像ファイルが第2の記録媒体に記録されることを未然に防止できるので、適切にグループ分けされたいわゆる電子アルバムを作成することができる。

【0014】

グループごとに対応するファイル名を上記第2の記録媒体に記録させることにより、上記グループ分けするものでもよい。グループごとにそのグループに属するファイル名を一覧表示させることができる。

【0015】

第2の発明による画像ファイル装置は、第1の記録媒体に記録されている画像ファイルを読み出す画像ファイル読み出し装置、上記画像ファイル読み出し装置によって読み出された画像ファイルを第2の記録媒体に記録する記録制御手段、

および上記記録制御手段によって上記第 2 の記録媒体に記録中の画像ファイルを出力する出力手段を備えていることを特徴とする。

【0 0 1 6】

第 2 の発明は、上記画像ファイル装置に適した方法も提供している。すなわち、この方法は、第 1 の記録媒体に記録されている画像ファイルを読み出し、読み出された画像ファイルを第 2 の記録媒体に記録し、上記第 2 の記録媒体に記録中の画像ファイルを出力するものである。

【0 0 1 7】

第 2 の発明によると、上記第 1 の記録媒体に記録されている画像ファイルが読み出され、上記第 2 の記録媒体に記録されるとともに、上記第 2 の記録媒体に記録されている画像ファイルが出力される。

【0 0 1 8】

画像ファイルは、例えば表示装置に与えられることにより画像ファイルによって表される画像が表示される。上記第 2 の記録媒体に記録中の画像ファイルそのものによって表される画像を確認しながら、上記第 2 の記録媒体に画像ファイルを記録することができる。どのような画像ファイルが上記第 2 の記録媒体に記録されているかがわかる。

【0 0 1 9】

【実施例の説明】

図 1 は、この発明の実施例を示すもので画像ファイル装置の電氣的構成を示すブロック図である。

【0 0 2 0】

この実施例による画像ファイル装置は、メモリ・カード（第 1 の記録媒体）21 に記録されている画像ファイルを読み出し、読み出した画像ファイルを大容量 F D（フロッピー・ディスク）（第 2 の記録媒体）23 に記録して、いわゆる電子アルバムを作成するものである。

【0 0 2 1】

画像ファイル装置 1 の全体の動作は、C P U 2 によって統括される。

【0 0 2 2】

画像ファイル装置 1 には、画像ファイル（画像データ）の動作プログラムが格納されている PROM（プログラマブル・リード・オンリ・メモリ）3、画像データその他のデータを一時的に格納するメモリ 4 および画像データを圧縮し、かつデータ圧縮されている画像データを伸長する圧縮／伸長エンジン 5 が含まれている。また、画像ファイル装置 1 には、メモリ・カード 21 に記録されている画像ファイルを読み出す、および画像ファイルをメモリ・カード 21 に記録するメモリ・カード・コントローラ 6、大容量 F D 23 に記録されている画像ファイルを読み出す、および画像ファイルを大容量 F D 23 に記録する大容量コントローラ 7、メモリ 4 の制御およびモニタ表示装置 10 の画像表示の制御を行う表示／メモリ・コントローラ 8 ならびにフロント・パネル 11 から入力された指令を受け付ける操作入力インターフェイス 9 が含まれている。

## 【0023】

図 2 は、メモリ・カード 21 および 22 ならびに大容量 F D 23 のディレクトリ構造を示している。

## 【0024】

第 1 のメモリ・カード 21 をデジタル電子スチル・カメラに装着して、被写体を撮像することにより、第 1 のメモリ・カード 21 に、ルート・ディレクトリ「ROOT」によって管理されるサブ・ディレクトリ「IMFIDX10」が生成される。このサブ・ディレクトリ「IMFIDX10」によって、被写体を撮像することにより得られた画像ファイルが管理される（ディレクトリを連ねることによりパスが生成される。図 2 においては、画像ファイル名「DSC00001.JPG」から「DSC00100.JPG」の画像ファイルが第 1 のメモリ・カード 21 に格納されている）。同様に第 2 のメモリ・カード 22 に画像ファイル名「DSC0001.JPG」から「DSC0004.JPG」をもつ画像ファイルが記録されている。

## 【0025】

第 1 のメモリ・カード 21 に記録されている画像ファイルおよび第 2 のメモリ・カード 22 に記録されている画像ファイルをそれぞれ読み出し、大容量 F D 23 に記録すると、大容量 F D 23 に、ルート・ディレクトリ「ROOT」によって管理されるサブ・ディレクトリ「0100 FUJI」が生成される。このサブ・ディレクトリ「01

00 FUJI」によって第1のメモリ・カード21から読み出された画像ファイルおよび第2のメモリ・カード22から読み出された画像ファイルが管理される。

【0026】

この実施例では、画像ファイルのファイル名は番号である。第1のメモリ・カード21に記録されている画像ファイルのファイル名と第2のメモリ・カード22に記録されている画像ファイルのファイル名とは同じファイル名のものがある（「DSC00001.JPG」から「DSC00004.JPG」）。同一の記録媒体に記録されている異なる画像ファイルが同じファイル名をもつことは許されない。このため、異なる画像ファイルが同じファイル名をもたないようにファイル名が変更されて大容量FD23に記録される。

【0027】

図2に示す例では、第1のメモリ・カード21から読み出された画像ファイルは、そのファイル名通りに大容量FD23に記録される。第2のメモリ・カード22から読み出された画像ファイルは、第1のメモリ・カード22から読み出された画像ファイルの最後のファイル名に続くファイル名に変更されて大容量FD23に記録される。具体的には、第1のメモリ・カード21にはファイル名「DSC00001.JPG」から「DSC00100.JPG」の画像ファイルが記録されているから、第2のメモリ・カードに記録されている画像ファイルは、ファイル名「DSC00001.JPG」から「DSC00004.JPG」が第1のメモリ・カード21の最後のファイル名「DSC00100.JPG」の次のファイル名から始まるファイル名「DSC00101.JPG」から「DSC00104.JPG」に変更される。変更後のファイル名をもつ画像ファイルが大容量FD23に記録される。

【0028】

この実施例では、大容量FD23にいわゆる電子アルバムが生成される。このために後述する電子アルバムのディレクトリ「ALBINFO」が生成され、ルート・ディレクトリ「ROOT」によって管理される。電子アルバムのディレクトリ「ALBINFO」によって、アルバム・マスタ・テーブル（ディレクトリ名「HMALB.MST」）およびアルバム管理テーブル（ディレクトリ名「UAL00001.ALB」）が管理される。

【0029】

図3は、アルバム・マスタ・テーブルとアルバム管理テーブルの一例を示している。

【0030】

アルバム・マスタ・テーブルには、アルバム・マスタ・ヘッダとデータ記録領域とが含まれている。

【0031】

アルバム・マスタ・ヘッダはアルバム・マスタ・テーブルについての管理データ（アルバム・マスタ・テーブルであることを示すデータ，データ記録領域にきろくされているデータのアドレスなど）が格納されている。

【0032】

データ記録領域には、アルバム（画像の種類ごとにアルバムとしてグループ化されている）ごとにアルバム管理テーブルのディレクトリ名が格納されている。たとえば、運動会のアルバム（運動会に関する画像を表す画像ファイルによって構成される電子アルバム）はディレクトリ名「UAL00001.ALB」によって表されており、花子（花子に関する画像を表す画像ファイル）のアルバムはディレクトリ名「UAL00002.ALB」によって表されている。

【0033】

アルバム管理テーブルは、アルバム・マスタ・テーブルのデータ記録領域に記録されているディレクトリ名ごとに生成されている。

【0034】

アルバム管理テーブルには、アルバム情報ヘッダとデータ記録領域が含まれている。

【0035】

アルバム情報ヘッダは、アルバム管理テーブルについての管理データ（アルバム管理テーブルであることを示すデータ，データ記録領域に記録されているファイル名のアドレスなど）が格納されている。

【0036】

アルバム管理テーブルのデータ記録領域にはアルバムを構成する画像ファイル

のファイル名が格納されている。ディレクトリ名「UAL00001.ALB」をもつアルバム管理テーブルに格納されているファイル名をもつ画像ファイルによって表される画像は運動会についてのものである。ディレクトリ名「UAL00002.JPG」をもつアルバム管理テーブルに格納されているファイル名をもつ画像ファイルによって表される画像は花子についてのものである。

## 【0037】

図4および図5は、画像ファイル装置1における画像ファイルの処理手順を示すフローチャートである。この処理は、第1のメモリ・カード21に記録されている画像ファイルおよび第2のメモリ・カード22に記録されている画像ファイルを読み出して、大容量FD23に記録し、電子アルバムを作成するものである。図6は、ファイル名変更処理の処理手順を示すフローチャートである。

## 【0038】

画像ファイル装置1のユーザによって、第1のメモリ・カード21および大容量FD23が画像ファイル装置1に装填される（ステップ31, 32）。すると、画像ファイル装置1のモニタ表示装置10の表示画面には、格納開始指令の入力を促す画像が表示される。ユーザによってフロント・パネル11から格納開始指令が入力される（ステップ33）。

## 【0039】

格納開始指令を示す信号は、操作入力インターフェイス9を介してCPU2に入力する。CPU2によってメモリ・カード・コントローラ6が制御され、第1のメモリ・カード21に記録されている画像ファイルの中から最初の1駒目の画像を表す画像ファイルが読み出される（ステップ34）。第1のメモリ・カード21から読み出された画像ファイルは、メモリ4に一時的に記憶される。

## 【0040】

第1のメモリ・カード21から読み出された画像ファイルがメモリ4に一時的に記憶されると、ファイル名変更処理が行われる（ステップ35）。

## 【0041】

この実施例では、大容量FD23に記録される画像ファイルのファイル名は連続した番号である。大容量FD23に記録されている画像ファイルの最終ファイル名

n (ファイル番号) が読み出される (図 6 ステップ 51)。読み出されたファイル番号 n に 1 がインCREMENTされた数字が大容量 F D 23 に記録すべき画像ファイルの新たなファイル番号とされる (図 6 ステップ 52)。

## 【 0 0 4 2 】

大容量 F D 23 に初めて画像ファイルが記録される場合には、大容量 F D 23 には、何も記録されていない。このような場合であっても大容量 F D 23 に記録される画像ファイルのファイル名が変更される。もっとも、大容量 F D 23 に初めて画像ファイルが記録される場合であって、第 1 のメモリ・カード 21 に記録されている画像ファイルのファイル名が DSC00001.JPG から順番通りに格納されている場合には、大容量 F D の最終ファイル名は n = 0 なので、ステップ 51 および 52 の処理をした場合でも第 1 のメモリ・カード 21 から読み出された画像ファイルのファイル名と同じファイル名で画像ファイルが大容量 F D 23 に記録されることとなる。

## 【 0 0 4 3 】

ファイル名が変更されると、電子アルバム作成のための処理に移行する。まず、画像ファイル装置 1 に装填されている大容量 F D 23 からアルバム・マスタ・テーブルが読み出される。アルバム・マスタ・テーブルのデータ記録領域に記録されているアルバム名が読み出され、モニタ表示装置 10 の表示画面上に一覧表示される。一覧表示されたアルバム名の中に、大容量 F D 23 に記録しようとする画像ファイルによって表される画像に対応するアルバムがあるかどうかによって確認される (ステップ 36)。

## 【 0 0 4 4 】

対応するアルバムがなければ、新たにアルバム名がフロント・パネル 11 から付与される。アルバム名を表すデータは、そのアルバム名に対応するディレクトリ名とともに大容量コントローラ 7 によって大容量 F D 23 に記録されているアルバム・マスタ・テーブルに格納される。新たなアルバム名のディレクトリによって管理されるアルバム管理テーブルが作成される (ステップ 37)。対応するアルバム管理テーブルがすでに大容量 F D 23 にあれば、ステップ 37 の処理はスキップされる。

## 【 0 0 4 5 】

画像ファイル装置 1 のユーザによってアルバム管理テーブルに格納されるファイル名がフロント・パネル 11 によって指定される（ステップ 38）。指定されると、その指定された画像ファイル名が大容量コントローラ 7 によって対応するアルバム管理テーブルに格納される（ステップ 39）。

【0046】

変更された画像ファイル名をもつ画像ファイルが表示／メモリ・コントローラ 8 によってメモリ 4 から読み出され、大容量コントローラ 7 に与えられる。大容量コントローラ 7 によって大容量 F D 23 に記録される（ステップ 40）。

【0047】

大容量コントローラ 7 によって大容量 F D 23 に格納されている画像ファイルは、圧縮／伸長エンジン 5 にも与えられる。圧縮／伸長エンジン 5 により、圧縮されている画像ファイルが伸長される（ステップ 41）。伸長された画像データは、表示／メモリ・コントローラ 8 に与えられる。大容量コントローラ 7 によって大容量 F D 10 に記録中の画像ファイルそのものによって表される画像がモニタ表示装置 10 に表示されることとなる（ステップ 42）。大容量 F D 23 に記録中の画像ファイルがどのような画像を表すかを画像ファイルのユーザが確認できる。

【0048】

第 1 のメモリ・カード 21 に記録されているすべての画像ファイルが大容量 F D 23 に記録されるまで、ステップ 34 から 42 の処理が繰り返される（ステップ 43）。

【0049】

第 1 のメモリ・カード 21 に記録されているすべての画像ファイルが大容量 F D 23 に記録されると、つぎに第 2 のメモリ・カード 22 が画像ファイル装置 1 に装填される。第 2 のメモリ・カード 22 に記録されている一駒分ずつの画像ファイルが読み出され、そのファイル名が大容量 F D 23 に記録されている画像ファイル名と重複しないようにファイル名が変更されて大容量 F D 23 に記録される。

【0050】

上述したように、第 1 のメモリ・カード 21 には、「DSC00001.JPG」から「DSC00100.JPG」までのファイル名をもつ画像ファイルが記録されていると、そのファイル名通りのファイル名ですべての画像ファイルが大容量 F D 23 に記録される。



第2のメモリ・カード22にファイル名「DSC00001.JPG」から「DSC00004.JPG」のファイル名をもつ画像ファイルが記録されていると、これらのファイル名は第1のメモリ・カード21に記録されていた画像ファイルの最後のファイル名（DSC00100.JPG）の次のファイル名（DSC00101.JPG）から連続するファイル名をもつように変更されて大容量F D 23に記録される。異なる画像ファイルが同一のファイル名をもつように大容量F D 23に記録されてしまうことを未然に防止される。大容量F D 23に記録されていた画像ファイルは上書きされないので、大容量F D 23に記録されていた画像ファイルが誤って消去されてしまうことを未然に防止できる。

## 【0051】

このようにして電子アルバムが作成されると、フロント・パネル11からアルバム名が入力されると、大容量コントローラ7により大容量F D 23のアルバム・マスタ・テーブルが検索され、入力されたアルバム名に対応するディレクトリ名が見つけられる。見つけられたディレクトリ名によって管理されるアルバム管理テーブルが探し出される。探し出されたアルバム管理テーブルに格納されているファイル名が読み出される。読み出されたファイル名によって表される画像ファイルが、ディレクトリ「0100 FUJI」によって管理されている画像ファイルの中から大容量コントローラ7を用いて読み出される。モニタ表示装置10の表示画面上にアルバムを構成する画像が順次表示されるようになる。

## 【0052】

上述の実施例においては、画像ファイル名は番号となっていたが番号以外でもよいのはいうまでもない。画像ファイル名が番号以外の場合には、メモリ・カードから読み出した画像ファイルのファイル名と同じファイル名をもつ画像ファイルが大容量F D 23に記録されているかどうか、大容量F D 23に記録されている画像ファイルのファイル名の一つ一つについて確認されることとなろう。

## 【0053】

また、ファイル名が番号の場合であっても大容量F D 23に記録された最終のファイル名（番号）がもっとも大きい番号とならないことがある。その場合にも、大容量F D 23に記録されているすべての画像ファイル名を読み出して、大容量F

D23に記録すべき画像ファイルのファイル番号がすでに大容量FD23に記録されている画像ファイルのファイル番号と重複しないファイル番号となるように変更することとなろう。たとえば、大容量FD23に格納されている画像ファイルのファイル番号のうちもっとも大きなファイル番号を見つけ出し、その大きなファイル番号の次の番号が、新たなファイル番号となるように大容量FD23に新たに記録する画像ファイルのファイル名を変更する。

【図面の簡単な説明】

【図1】

画像ファイル装置の電氣的構成を示すブロック図である。

【図2】

メモリ・カードおよび大容量FDのディレクトリ構造である。

【図3】

アルバム・マスタ・テーブルおよびアルバム管理テーブルを示している。

【図4】

画像ファイル装置の処理手順の一部を示すフローチャートである。

【図5】

画像ファイル装置の処理手順の一部を示すフローチャートである。

【図6】

ファイル名変更処理の処理手順を示すフローチャートである。

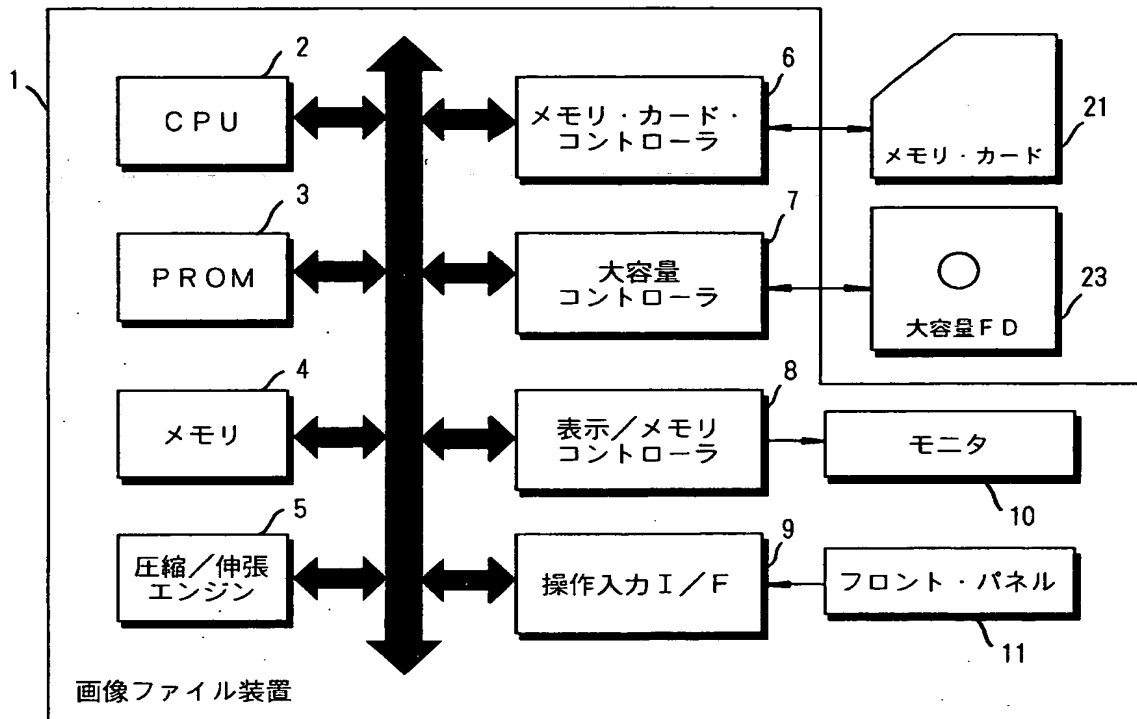
【符号の説明】

- 1 画像ファイル装置
- 2 CPU
- 3 PROM
- 4 メモリ
- 5 圧縮／伸長エンジン
- 6 メモリ・カード・コントローラ
- 7 大容量コントローラ
- 8 表示／メモリ・コントローラ
- 9 操作入力インターフェイス

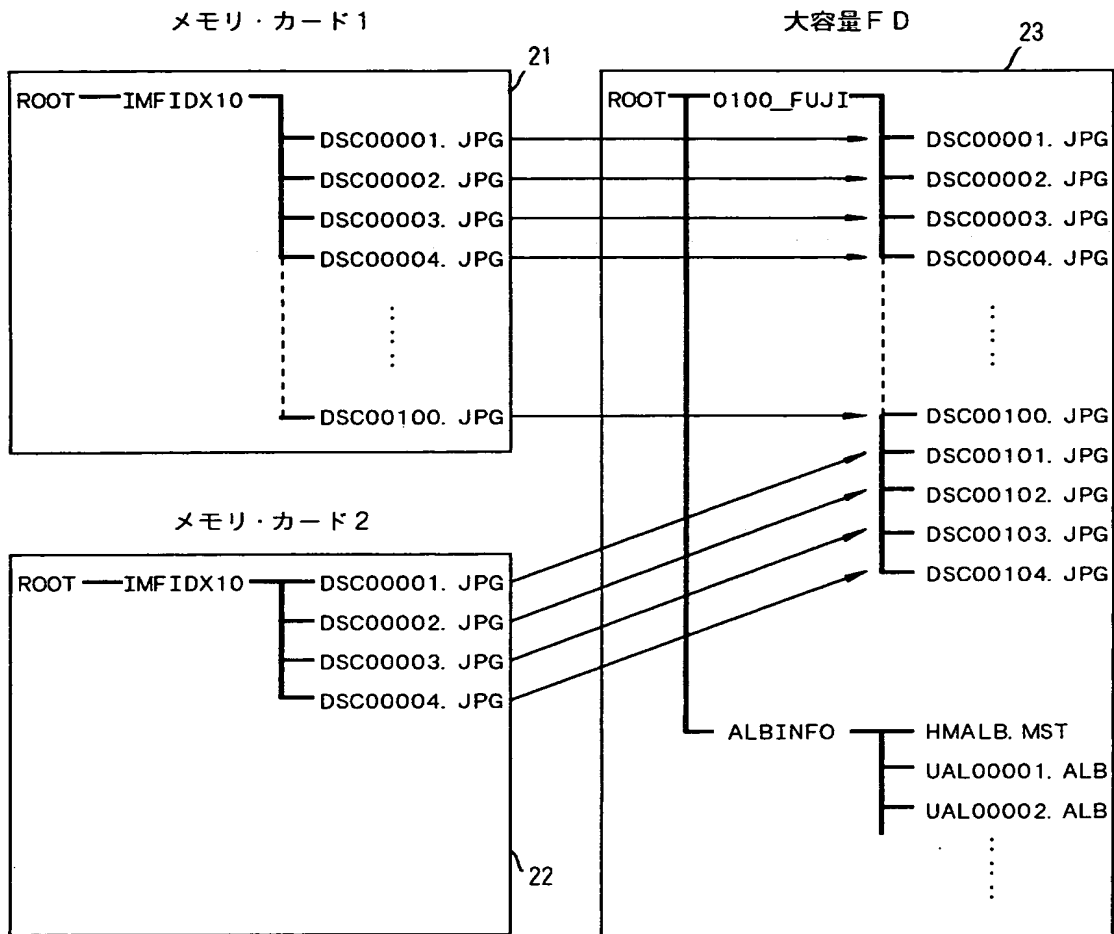
- 10. モニタ表示装置
- 11 フロント・パネル
- 21 メモリ・カード
- 23 大容量FD

【書類名】 図面

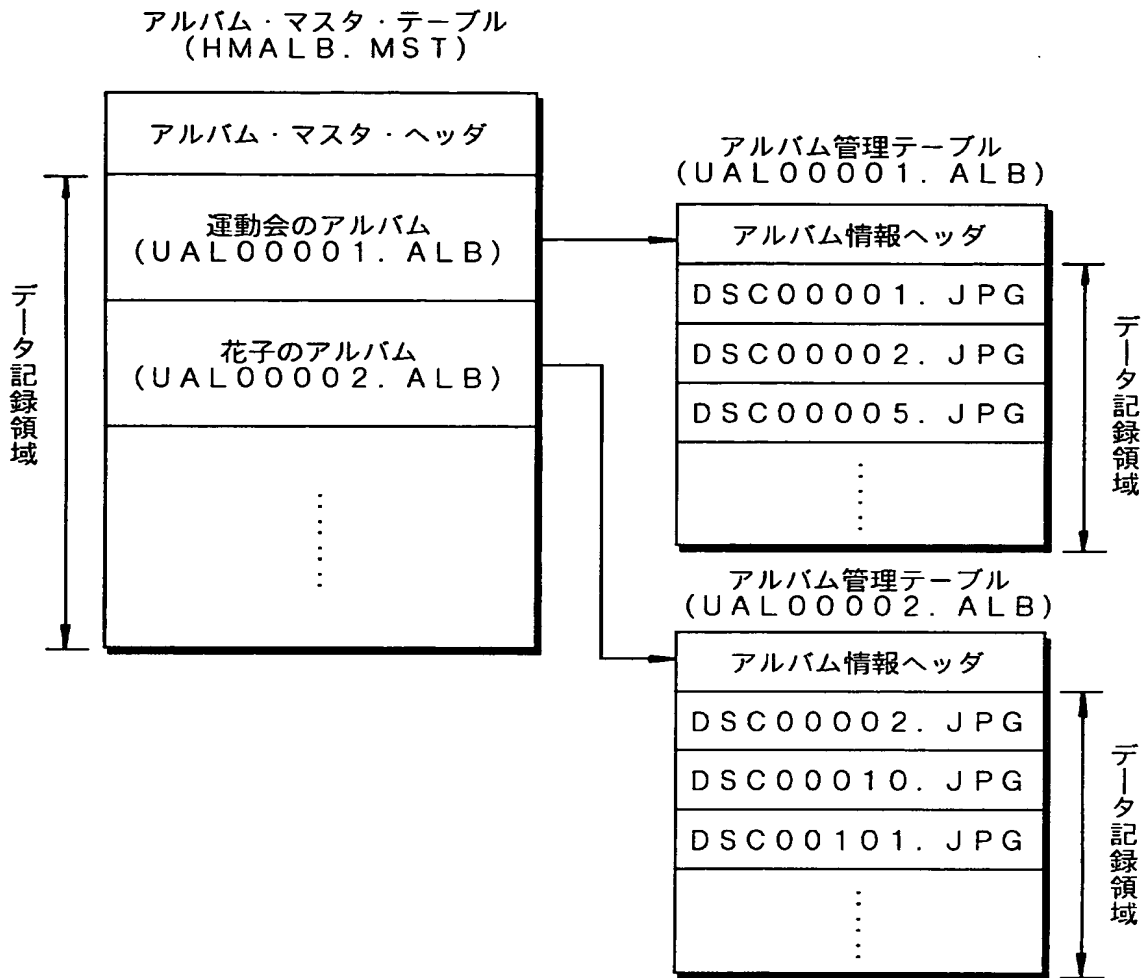
【図 1】



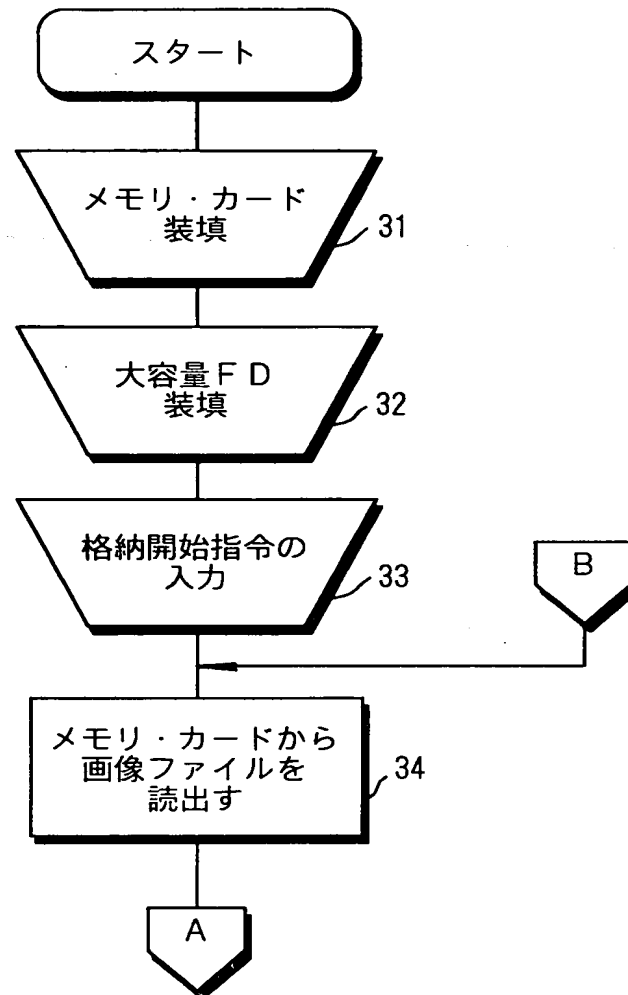
【図 2】



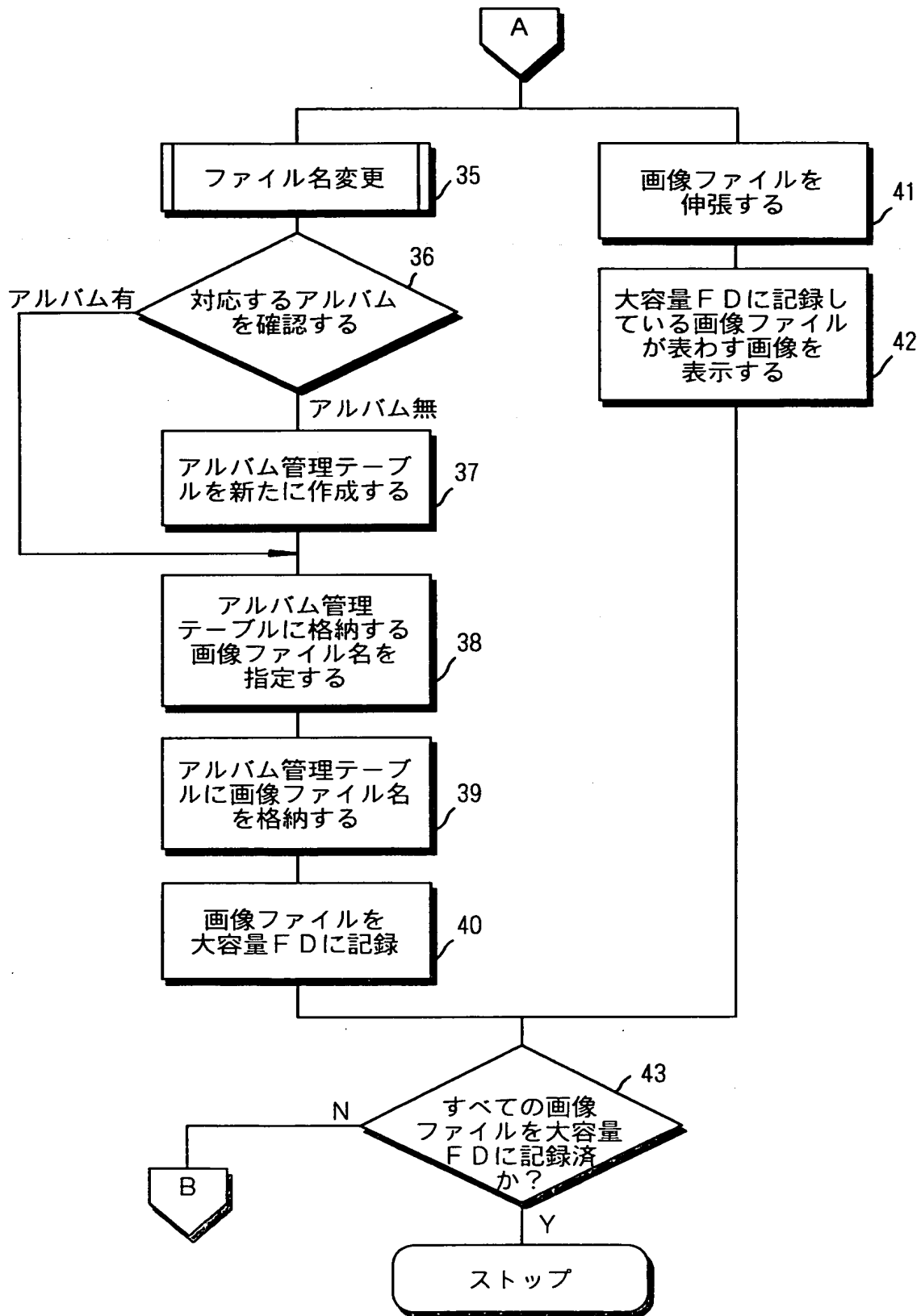
【図 3】



【図 4】

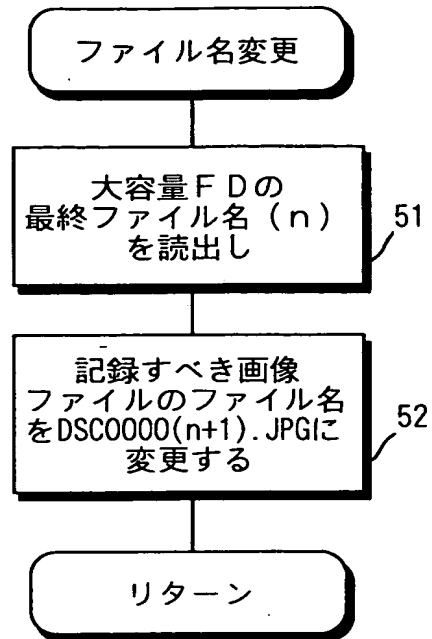


【図 5】





【図 6】



【書類名】 要約書

【要約】

【目的】 電子アルバムを作成するときに、同じファイル名をもつ異なる画像ファイルが大容量FDに記録されることを未然に防止する。

【構成】 メモリ・カード21および大容量FD23には、ファイル番号順に画像ファイルが記録されている。メモリ・カード21に記録されている画像ファイルを大容量FD23に記録するときに、大容量FD23の最後のファイル番号を読み出す。メモリ・カード21から読み出された画像ファイルのファイル番号を、大容量FDに最後に記録されたファイル番号の次のファイル番号に変更する。ファイル番号が変更された画像ファイルを大容量FD23に記録し、画像の種類ごとにいわゆる電子アルバムを生成する。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005201]

1. 変更年月日	1990年 8月14日
[変更理由]	新規登録
住 所	神奈川県南足柄市中沼210番地
氏 名	富士写真フイルム株式会社